JavaScript

配列 応用

14時間目

要素の追加(先頭/unshift)

解説

unshiftを使えば、配列の先頭に、新しく要素を"割り込み"で追加することが出来ます。

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];

myoji.unshift("鈴木");

箱の名前は、格納した瞬間に 先頭の箱が0となり、他の箱番号も 1つずつズレます





変数名をvar nameにして【name.unshift】とすると、windowオブジェクトというモノと競合しエラーが起きます。 ココでは、変数には、【name】は使用してはいけないとだけ覚えてください。

要素の追加(先頭/unshift)

割り込みで先頭に「**鈴木**」を追加した後に ブラウザで表示する

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji =["田中", "高橋", "斉藤"];

myoji.unshift("鈴木");

document.write(myoji);



要素の追加(末尾/push)

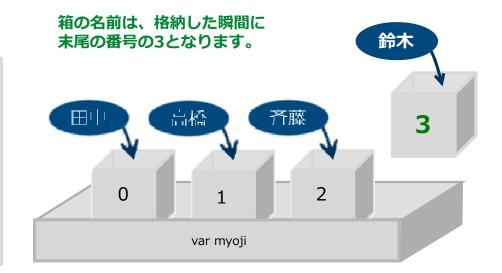
解説

pushを使えば、配列の末尾に、新しく要素を追加することが出来ます。

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];

myoji.push("鈴木");



要素の追加(末尾/push)

末尾に追加した「**鈴木**」をブラウザで表示する

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji =["田中", "高橋", "斉藤"];

myoji.push("鈴木");

document.write(myoji);



先頭の要素の削除 (shift)



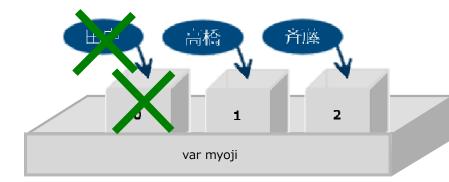
shiftを使えば、配列の先頭の要素を削除することが出来ます。

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];

myoji.shift();

配列の先頭の要素を削除



先頭の要素の削除(shift)

配列の先頭を削除した後に、ブラウザで表示する

script.js(JavaScriptファイル)
var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];
myoji.shift();
document.write(myoji);



末尾の要素の削除(pop)



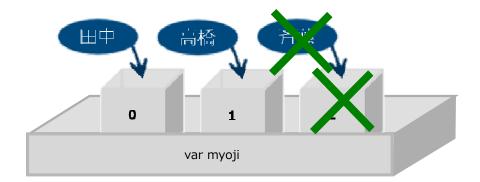
popを使えば、配列の末尾の要素を削除することが出来ます。

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];

myoji.pop();

配列の末尾の要素を削除



末尾の要素の削除(pop)

配列の末尾を削除した後に、ブラウザで表示する

script.js(JavaScriptファイル)
var myoji= ["田中","高橋", "斉藤"];
myoji.pop();
document.write(myoji);



要素の切り出し(slice)

解説

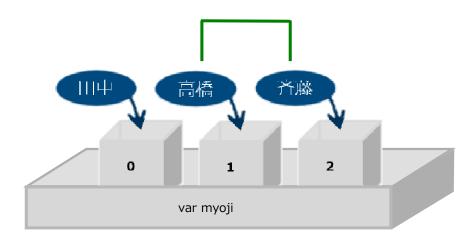
sliceを使って配列の一部を切り取って表示することが出来ます。

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji = ["田中", "高橋", "斉藤"];

document.write(myoji.slice(1,2));

1と2の間の要素だけ切り出す



要素の切り出し(slice)

「**1と2の切り出し**」 てブラウザに表示してみよう

script.js(JavaScriptファイル)

var myoji = ["田中", "高橋", "斉藤"];

document.write(myoji.slice(1,2));

